



# 稚の木

平成29年5月1日  
朝霞市立朝霞第八小学校  
電話：048-465-8381  
男子547名 女子518名 1065名

【学校教育目標】

かしこく・やさしく・たくましく

## 子どもをいかに導くか

校長 鈴木 聡

五月を迎えました。五月は皐月（さつき）とも言われますが、耕作を意味する古語「さ」から、稲作の月として「さつき」と呼ぶようになったとのこと。また、早苗を植える月「早苗月（さなえづき）」が略されて「さつき」になったという説もありますが、「早苗」の「さ」も耕作の「さ」が語源となっているとのこと。

- ◆私はこの「耕す」という言葉に特別な思いがあります。教職に就いて間もない頃、先輩教師から「子どもを耕す」というような話を聞き、それ以来、気になる言葉になりました。その言葉（話）に、子どもとてつもない力強さと生命の息吹を感じ、そこに関わる教師としての在り方（「教育育てる」から子ども自身が「教わり育つ」への転換）を考えたからです。
- ◆過日、朝霞市教育委員会教育長 三好節先生に「仏様の指」というお話を伺いました。

仏様がある時、道端に立っていらっしゃると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこは大変なぬかるみであった。車は、ぬかるみにはまってしまっ、男は懸命に引くけれども、車はうごこうともしない。男は汗びっしょりになって苦しんでいる。いつまでたっても、どうしても車は抜けない。

その時、仏様は、しばらく男の様子を見ていらっしゃいましたが、ちょっと指でその車にお触れになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いていってしまった。

『男は、自分の力でぬかるみから抜けることができたと思っているのでしょうか。仏様の助けがあったなどとは考えもしません。自分の力でできたと思わせる。そこに、究極の教育があるのです。』

- ◆私を惹きつける言葉に「火を付ける」もあります。関心や意欲を引き出すことに係る言葉ですが、教育技術だけでは補うことのできない領域にあることで、教育に係る者の人間性に大きく関わることだと考えています。子どもとの関係性も一つの要素となるのでしょうか。
- ◆子どもは与えられた環境の中で育ち、その環境が当たり前のこととなります。ですから、子どもにとって一番身近で最大の環境である私たち大人が、子どもにとっていい環境とならなければなりません。子どもの前でどのように振る舞うか、どのような姿勢を示すか、よく考えなければなりません。
- ◆子育てで大切なのは、子どもをいかに導くかということです。例えば、私たち（教師や保護者）は、子どもが行き詰まってやる気を失いかけたときに、どのように手を差し伸べるべきなのでしょう。どこまで子どもに手を貸し、どこから子どもの自主性に任せるか。誉め認めるのか叱咤激励するのか。必要な助言を与え、子どもが自分でできるように励ますことが重要ですが、先回りをして困りすぎてはなりません。

家庭（保護者）と学校（教員）は、子どもの育成に共に取り組む同志です。互いの理解を深め、同じ方向を向いて協働する関係を築いてまいりましょう。また、保護者の皆様同士が顔見知りになり仲良くなることは互いに大きな頼りとなります。何でも話せる関係を創り上げて頂くよう合わせてお願い致します。

### 《個人情報取り扱いについて》

短い期間にも関わらずご回答いただきありがとうございました。言葉足らずの項目もあり、ご心配をお掛けしたことをお詫びいたします。

○顔と氏名が一致する画像を学校ホームページ等に掲載することは絶対に行いません。

○学級便りはその学級の保護者だけに配布するものです。学級便りには、顔と氏名が一致する画像を載せる場合もあります。

☆ご心配頂いたご家庭には、担任から改めてお声掛け、相談させていただきます。ご理解をお願いします。

